

会社体験記

“学びながら働く”
学院生のリアルをお届けします

職場の多様な人間関係を通じて 学んだ「報・連・相」の重み

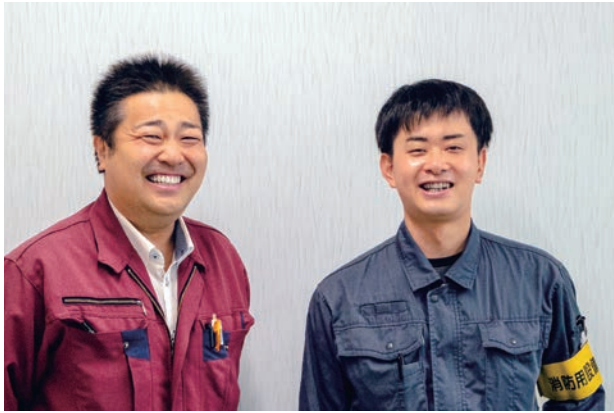
今日、話を伺うのは株式会社大昭商事でOJT(On the Job Training/有償インターン)を行う高校3年生の伊倉さん。職場の上司である石田部長と一緒に、「学びながら働く」感想や思いをインタビューしました。

—なぜ、この会社でOJTを？

伊倉「企業説明後の面談で、社長や部長の雰囲気がとても温かく、働く人を大切にしている会社だと感じたのが1番の理由です。ここですら自分も成長していける、と強く思いました」

—現在、どんな仕事をしていますか？

伊倉「主に消防設備の点検業務を行っ



株式会社 大昭商事

上越市に本社を置く、地域防災を支えるプロ集団

昭和42年創業。消火器や消防ポンプなどの防火設備販売・整備を中心に、上越・糸魚川・妙高エリアの安全・安心を支えている。事業範囲は幅広く、消防車や工場などの消防設備、非常時持ち出し袋などの防災・減災備品、ヘルメット、プールろ過機などの水処理設備まで。行政、民間相当での取引多数。「火災被害ゼロの社会」の実現に向けて、長年の経験・ノウハウにあたたかな学びを積み重ねながら、「安全・安心」な商品やサービスの開発・提供を追い求めている。

ています。例えば、消火器の点検では、設置表示の確認、製造年数や圧力ゲージのチェック、ピンやシールの確認など手順が沢山あります。最後は粉が固まっていないかを振って確かめるのですが、耳を当てて粉が動く音を確認する作業も1人でできるようになりました」

石田部長「伊倉さんは、卒業後にそのまま正社員として採用することが決まっています。普通の高卒の新入社員なら社会人教育からスタートすると、彼は現場の勝手を既に理

採用すること
が決まっています
。普通の高
卒の新入社員
なら社会人教
育からスター
トすると、彼
は現場の勝手
を既に理



解しています。卒業後、入社時点で、即戦力として設備を任せられる状態になっている。これは企業にとっても非常に大きなメリットです」

—働いてみて「成長した」「変わった」と感じる点は？

伊倉「報告・連絡・相談」の大切さを学びました。最初は知らないことばかりだったので、自分から相談すること意識していました。あとは、現場によって色々なタイプの先輩や協力会社の方がいるので、ちょっと言いづらいなという時もありますが、ちゃんとやれるようになってきたと思います」

—印象に残っているエピソードはありますか？

伊倉「以前、現場で『早く降りろ！』と急がされながら避難器具の点検をした際、厳しく注意されたことがありました。布の筒を滑り降りるタイプのもので、降りている途中は布のこすれる音が大きく、外の音が全く聞こえないぐらいになります。その器具を降りている途中に下から先輩から何か声がかかれた時に、筒の音でまったく聞こえていなかったのですが、とりあえず「はい！」と大きく返事をしまして。そうしたら、降りてから先輩に「人の話は聞け」と怒られました……」

石田部長「早く降りろって煽られちゃったね。そういう人もいるよね。どんな仕事も、人間関係は重要で。そういう人もいる、その付き合い方をどうするのか。人は変えられないけど、自分を変えられる。この人はこうだから、こういう風に付き合おうとか。技術の習得以上に素晴らしい経験だと思えます。卒業式での彼の勇姿も、今から楽しみにしていますよ」

仕事の内容

消火器や消火栓などの消防設備点検が主な業務。ホテルや工場、ビルなどの様々な現場へ赴き、チームとして連携しながら確実に手早く完了させる。学校のような大きな現場では20名程度の規模になることもあり、大昭商事の社員だけでなく、協力会社の社員とも適宜コミュニケーションを取りながら業務にあたっている。

今年(2026年)3月に卒業し、そのまま正社員として雇用される予定。



卒業式・社内PBL成果発表会・協力企業説明会を実施しました

卒業式・自律した、1人の「社会人」として巣立ちの日

3月6日(金)、ライトシップ高等学院にとって記念すべき第1期生の卒業式、および社内PBL(課題解決型学習)成果発表会を挙行了しました。当日は、入学後も温かく見守ってくださった保護者の皆様、そして現場で直接ご指導いただいた協力企業の皆様にもご臨席いただき、学院生の「成長の集大成」をお披露目する特別な1日となりました。

保護者の皆様へ。
これからの彼らを、共に信じて

松本学院長は、卒業生へ「1年間は無事の高校生活と大きく異なっただと思う。普通でないことを恐れない姿勢は、これからの成長を後押しし、社会にインパクトを与える力になる。新し



い航海を目指す卒業生に直江津港からご安航を祈る」と、次なるステージへ向かう背中を押す言葉を贈りました。

卒業後、そのまま正社員として雇用される者、さらなる学びを求めて短大・大学へ進学する者と道は別れますが、「ここで培った『責務を全うする力』と『豊かな人間関係を築く力』は、一生の財宝となるはずですよ。保護者の皆様、今日まで多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。新しい一歩を踏み出す彼らの未来を、これからも共に温かく見守っていきましよう。

※卒業式にて掲げられた旗は、国際信号旗の「U」(左)と「W」(右)。「貴船のご安航を祈る」という意味



社内PBL成果発表会：胸を張って学びを語る

卒業式後に行った発表会では、1期生がOJTでの学びをポスター形式で発表しました。OJTを受け入れている企業や保護者ら約50人が聴講。発表内容は、社内の課題を見つけて改善に取り組んでいる事例や、新商品開発に関わった経験などをまとめたものです。ポスター発表を終えた学院生からは、「知らない人に自分の仕事について話すことがすごく緊張した」「ポスターをじっと読んでもらっている時間はすごくドキドキしたが、よくまとめていると褒めてもらえると思うとすごくホッとした」「発表は上手ではなかったと思うが、よく分かったと言ってもらえて嬉しかった」等の声が聞かれました。年の離れた経営者にも自信を持ってポスター発表や質疑応答をする学

院生の様子を写真で収めましたので、ぜひご覧ください。



お知らせ Information

4/3(金)
新入生とその保護者のみで実施いたします。

入学式
(上越、柏崎、十日町・魚沼合同)

4/9(木)
新入生歓迎会
(上越、柏崎、十日町・魚沼合同)

4/17(金)・20(月)
OJT合同企業説明会
(上越・新入生のみ)

4/21(火)
OJT合同企業説明会
(柏崎・新入生のみ)

4/24(金)
OJT企業向け労務管理セミナー



協力企業向け説明会で
学院生がプレゼン

社内PBL成果発表会の終了後、協力企業向け説明会を実施しました。当日は約40社の経営者やOJT担当者が参加。松本学院長から、来年度入学生と企業とのマッチングスケジュール、今年度のOJTに関するデータや振り返り、来年度からの教育プログラムなどについて説明がありました。会の最後では、学院生が来年度のPBL活動で実施する各事業についてプレゼンを実施しました。4月以降実施するサービス内容について説明した後、参加企業へのご協力・ご支援を依頼しました。

